

(様式2)

3. 事後評価の実施

(1) 実施時期

令和3年4月	施設利用者(児童・生徒)にヒアリング
令和3年12月	市ホームページに評価結果を掲載
令和4年1月	担当課により再評価

(2) 評価の方法

- ①施設利用者(児童・生徒)にヒアリング
トイレ洋式化前後について施設利用者(児童・生徒)に向けヒアリングを実施し、利用状況や意見・感想等を聴衆する。
- ②市ホームページに評価結果を掲載
事後評価を市ホームページに公表し、市民等から幅広い意見を求める。
- ③担当課により再評価
得られた意見・感想等を基に担当課において再評価を実施する。

4. 総合的な所見

施設整備計画の目標は達成できた。
今後、学校施設が築後40～50年を迎えるにあたり、築年数と老朽化状況を鑑みた計画的な改築、改修を行う必要がある。
本市では平成30年度に学校施設の長寿命化と予防保全を計画的に実施するため個別施設計画を策定しており、計画に基づき長寿命化等の改修を実施している。
今後も引き続き、老朽化対策と教育環境の質的向上を相乗的に図る。

5. 各目標の達成状況

(1) 公立の義務教育諸学校等施設の老朽化対策を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

--

(2) 地震、津波等の災害に備えるための整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(3) 防犯対策など安全性の確保を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(4) 教育環境の質的な向上を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

今井小学校、袋井南小学校、浅羽南小学校、浅羽北小学校、周南中学校についてトイレの洋式化、床の乾式化等の改修を行った。これにより、小・中学校のトイレ洋式化率が前年度40%であったものが54%となり、14%の向上となった。

また、児童・生徒から、綺麗なトイレで嬉しい、使いやすい等の感想が多数でており、学校からは清掃も簡単で時間の削減に繋がるとの意見をいただいている。

今回の事業実施により教育環境の改善が大いに図られていることが分かった。

(5) 施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

6. 改築後の危険建物等のとりこわし状況

